

## 航空法第111条の4に基づく報告一覧(令和4年4月～令和5年3月)

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/1	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA601F	北京	成田国際空港	機長に誤った危険物通知書類を渡したため、危険物を誤輸送した。	
4/1	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	那覇空港	那覇空港	飛行中、確認が不足したことからフラップ展開時の運用限界高度を超過した。	
4/2	日本航空	ボーイング式787-8型	JA840J	サンディエゴ	成田国際空港	飛行中、乗客のたばこにより化粧室の煙探知機が作動した。	
4/2	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA10FJ	名古屋飛行場	山形空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
4/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	神戸空港	東京国際空港	降下中、確認が不足したことからフラップ展開時の運用限界速度を超過した。	
4/3	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA03JC	鹿児島空港	鹿児島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/3	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	サンフランシスコ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/3	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA08JJ	新千歳空港	成田国際空港	運航整備中、上面フェアリングに取り付いているSealの一部およびLight LensIが脱落していることを発見した。	
4/4	静岡エアコミューター	アグスタ式AW109SP型	JA10YM	—	—	不適切な整備処置を実施した。	
4/4	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	—	—	定時整備中、胴体後方の構造部に亀裂が発見された。	
4/4	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	名古屋飛行場	高知空港	不正確な大人、小児により算出された重量重心位置データを使用して運航した	
4/5	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA203P	関西国際空港	成田国際空港	貨物運送状(AWB)への記載漏れがあったため、無申告で危険物を輸送した。	
4/5	日本航空	エアバス式A350-941型	JA08XJ	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	東京国際空港	松山空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/6	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA08RK	中部国際空港	那覇空港	離陸滑走中、扉が開いたことを示すライトが点灯した。	
4/6	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA13FJ	名古屋飛行場	高知空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
4/6	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA793A	ロサンゼルス	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/7	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA89AN	東京国際空港	大館能代空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
4/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	中部国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/7	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA735J	ロンドン	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/7	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA613A	—	—	整備時に、ACMSのソフトウェアのP/Nが誤ってインストールされていたことが判明した。	
4/7	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA784A	サンフランシスコ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/8	静岡エアコミューター	フィンメカニカ式AW109SP型	JA70RC	—	—	搭載用航空日誌への整備記録の記載漏れがあった。	
4/8	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA605A	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、Left Engine Left Thrust Reverser Inner Wire Meshが脱落していることを発見した。	
4/9	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA821A	大阪国際空港	東京国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
4/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	新千歳空港	百里飛行場	GPWS警報(TOO LOW TERRAIN)に基づく回避操作を実施した。	
4/12	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA25MC	福岡空港	中部国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/12	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA751A	—	—	定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が開展しないことが判明した。	
4/12	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA808X	神戸空港	那覇空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示高度を逸脱した。	
4/13	Peach Aviation	エアバス式A321-251NX型	JA902P	関西国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/13	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	サンフランシスコ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	アンカレッジ	成田国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/13	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA784A	ロサンゼルス	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/14	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA55AN	東京国際空港	大館能代空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
4/14	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA10JJ	那覇空港	成田国際空港	便出発前の機体電源投入時、電波高度計の不具合を発見した。	
4/15	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	松山空港	中部国際空港	上昇中、副操縦士側(右側)の操縦室窓にひび割れが発生したため、引き返した。	
4/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	—	—	定時整備中、水平尾翼の構造部に腐食を発見した。	
4/15	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA150A	長崎空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/16	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA05VA	関西国際空港	仙台空港	降下中、自動操縦装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示高度を逸脱した。	
4/16	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA872A	—	—	R/H Wheel Well Door Seal Retainerの損傷について必要な点検を行わずに運航していたことが判明した。	
4/17	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA75AN	庄内空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/17	日本航空	ボーイング式787-8型	JA842J	東京国際空港	バンコク	飛行中、化粧室の煙探知機が誤作動した。	
4/17	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA141A	東京国際空港	岡山空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/17	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	那覇空港	久米島空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
4/18	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	仙台空港	福岡空港	飛行中、複数の速度計に不具合が発生した。	重大インシデント
4/18	日本航空	ボーイング式767-300型	JA616J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	香港	地上走行中、エルロンに不具合が発生したことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
4/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A	中部国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/19	日本航空	ボーイング式737-800型	JA335J	東京国際空港	高知空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/19	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	—	—	定時整備中、胴体の構造部に腐食が発見された。	
4/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA20JJ	成田国際空港	那覇空港	到着後、電波高度計の不具合が発見された。	
4/20	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC	—	—	定時整備中、左主翼下面の構造部に腐食が発見された。	
4/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	神戸空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/21	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA612A	東京国際空港	函館空港	降下中、エルロンの操作を行ったところ通常と異なる感覚であった。	
4/21	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	ダラス	シカゴ	ギャレーのドアラッチの不具合に対して、必要な運用許容基準を適用せずに運航した。	
4/21	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	ホノルル	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
4/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	—	—	社内調査の結果、発動機交換時に行う点検が期限を超過していたことが判明した。	
4/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	—	—	社内調査の結果、発動機交換時に行う点検が期限を超過していたことが判明した。	
4/22	日本航空	エアバス式A350-941型	JA04XJ	福岡空港	東京国際空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した	
4/22	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA10JC	出雲空港	福岡空港	不正確に算出された重量重心位置データを使用して運航した	
4/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA251J	大阪国際空港	福岡空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/23	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA206P	那覇空港	福岡空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	福岡空港	百里飛行場	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
4/24	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA796A	ロサンゼルス	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/24	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA827A	メキシコ	成田国際空港	承認できないETOPSIによる飛行計画により運航を開始した。	
4/25	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA743J	バンコク	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/25	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA87AN	松山空港	那覇空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
4/26	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA876A	成田国際空港	ヒューストン	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/26	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA872A	成田国際空港	ブリュッセル	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/26	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ	那覇空港	成田国際空港	脚上げ操作を実施したが、脚が正常に上がらなかった。	イレギュラー運航
4/27	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA241J	大阪国際空港	仙台空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/27	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA791A	シカゴ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/28	スカイマーク	—	—	—	—	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、客室乗務員からアルコールが検知された。	
4/28	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA26MC	北九州空港	東京国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA618J	青森空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/1	新中央航空	ルアグ式Dornier228-212型	JA35GA	三宅島空港	調布飛行場	離陸して、脚上げ操作後、脚が通常と異なる位置にあることを示すライトが点灯した。	
5/1	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA54AN	東京国際空港	大館能代空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/2	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を受けなかった。	
5/2	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	那覇空港	大阪国際空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
5/3	日本航空	ボーイング式767-300型	JA617J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/3	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA923A	マニラ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/3	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA220A	新千歳空港	関西国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/3	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	J03JJ	那覇空港	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/4	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA147A	東京国際空港	鹿児島空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8358	成田国際空港	バンコク	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
5/5	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA04VA	—	—	定時整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	
5/5	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA222J	福岡空港	徳島飛行場	不正確に算出された重量重心位置データを使用して運航した	
5/5	岡山航空	テキストロン・アビエーション式525型	JA10MZ	岡山空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/6	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	広島空港	着陸直前、風の変化を受けて対地接近警報装置が作動した。	
5/7	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA14RJ	仙台空港	福岡空港	上昇中、化粧室の煙探知機が誤作動した	
5/7	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA07VA	大分空港	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/7	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA85AN	函館空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
5/7	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	バンコク	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/8	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA89AN	東京国際空港	紋別空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/8	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA809X	新石垣空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/9	日本航空	ボーイング式767-300型	JA623J	東京国際空港	旭川空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/10	Peach・Aviation	エアバス式A320-214型	JA822P	中部国際空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/10	Peach・Aviation	エアバス式A320-251N型	JA202P	福岡空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/10	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850A	福岡空港	対馬空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/10	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	ボストン	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/10	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA150A	福岡空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/12	日本航空	ボーイング式787-9型	JA872J	クアラルンプール	成田国際空港	機長に危険物搭載通知が手交されないまま運航した。	
5/12	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	シカゴ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA653J	—	—	定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
5/12	日本航空	ボーイング式787-8型	JA841J	シアトル	成田国際空港	機長に危険物搭載通知が手交されないまま運航した。	
5/13	日本航空	ボーイング式787-9型	JA881J	成田国際空港	ボストン	飛行中、擾乱により運用限界速度を超過した。	
5/13	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA887A	シドニー	東京国際空港	到着後、作業用無線機が貨物室で発見された。	
5/14	日本航空	ボーイング式737-800型	JA301J	東京国際空港	大分空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/14	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA613A	—	—	定時整備中、委託先での取り付け間違いが確認された。	
5/14	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	—	—	定時整備中、客室内の酸素マスクの不具合を発見した。	
5/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA08FJ	名古屋飛行場	熊本空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA310J	中部国際空港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/15	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA02RK	—	—	定時整備中、発動機のアクチュエーターの誤った取り付けを発見した。	
5/15	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA874A	福岡空港	新千歳空港	到着後、地上作業員の携帯電話が貨物室で発見された。	
5/16	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	仙台空港	福岡空港	進入中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
5/16	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA69AN	小松飛行場	東京国際空港	降下中、確認が不足したことからフラップ展開時の運用限界速度を超過した。	
5/16	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA825J	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、高揚力装置(スラット)に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/17	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	—	—	整備中、誤った部品の取り付けを発見した。	
5/17	Peach・Aviation	エアバス式A320-214型	JA819P	—	—	定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	



日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	東京国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	日本航空	—	—	関西国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式 ERJ170-200STD型	JA15FJ	高知空港	名古屋飛行場	降下中、確認が不足したことからフラップ展開時の運用限界速度を超過した	
5/20	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式 ERJ170-200STD型	JA10FJ	広島空港	百里飛行場	進入中、滑走路に車両がいたため復行した。	重大インシデント
5/20	全日本空輸	ボーイング式787-8 型	JA813A	—	—	定時整備中、左主翼の構造部に亀裂が発見された。	
5/21	東邦航空	シコルスキー式S-76C 型	JA769B	東京都御蔵島村	八丈島空港	飛行中、油圧系統に不具合が発生したことから引き返した。	イレギュラー運航

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/21	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA04RK	東京国際空港	新石垣空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/22	北海道エアシステム	ATR式42-500型	JA04JC	札幌飛行場	函館空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
5/22	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	東京国際空港	山口宇部空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8358	—	—	定時整備中、胴体前方の客室ドア付近に腐食が発見された。	
5/22	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA20JJ	那覇空港	中部国際空港	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/23	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA874A	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	バンコク	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
5/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	中部国際空港	那覇空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
5/24	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	ホノルル	成田国際空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
5/25	日本航空	ボーイング式737-800型	JA330J	東京国際空港	高松空港	地上走行中、機内放送装置(PA)に不具合が発生した。	
5/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	—	—	—	航空機乗組員が業務に従事する時間等の制限を超えた状態で乗務した。	
5/25	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA12FJ	松本空港	神戸空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA610A	東京国際空港	福岡空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/26	日本航空	ボーイング式787-9型	JA869J	クアラルンプール	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/26	静岡エアコミュニタ	フィンメカニカ式AW109SP型	JA70RC	—	—	搭載用航空日誌への整備記録の記載漏れがあった。	
5/26	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA793A	サンフランシスコ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/27	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/27	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA09FJ	福岡空港	静岡空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	新千歳空港	仙台空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
5/28	日本航空	エアバス式A350-941型	JA15XJ	東京国際空港	那覇空港	到着後の点検にて、鳥衝突によるエンジンの損傷を発見した。	
5/28	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA12AN	釧路空港	東京国際空港	降下フェーズにおける水平飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/30	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA87AN	福岡空港	中部国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
5/30	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA16FJ	松本空港	福岡空港	着陸時、第2エンジンの排気ガス温度が運用限界を超過した。	
5/30	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA811A	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850A	福岡空港	大阪国際空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
5/31	日本航空	ボーイング式737-800型	JA307J	宮崎空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA07FJ	隠岐空港	名古屋飛行場	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
5/31	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	成田国際空港	上海(浦東)	無申告危険物を輸送した。	
5/31	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA625A	東京国際空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/1	日本航空	ボーイング式777-200型	JA709J	東京国際空港	新千歳空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
6/1	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA824J	成田国際空港	バンコク	飛行中、化粧室の煙探知機が誤作動した。	
6/1	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA605F	成田国際空港	シンガポール	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/1	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA892A	成田国際空港	バンコク	操縦室内の湿度調整機能の不具合に対して誤った運用許容基準を適用して運航した。	
6/2	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A	大阪国際空港	青森空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	長崎空港	神戸空港	第2エンジンの逆推力装置が作動完了後、「ENG FAIL」の計器表示がされた。	
6/3	日本航空	ボーイング式787-8型	JA832J	メルボルン	成田国際空港	到着後、作業用の電子機器が貨物室で発見された。	
6/3	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN	神戸空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/4	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	—	—	定時整備中、胴体の構造部に摩耗が発見された。	
6/4	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA146A	東京国際空港	佐賀空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/4	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA602F	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
6/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	大阪国際空港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
6/5	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	東京国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/6	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA08RK	那覇空港	福岡空港	上昇中、前方(EQUIP)ドアの不具合を示す計器表示があった。	
6/6	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA243J	東京国際空港	宮崎空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に上がらなかった	イレギュラー運航
6/6	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA150A	松山空港	東京国際空港	着陸時、ギャレーからコンテナが飛び出した。	
6/7	Peach Aviation	エアバス式A-320-214型	JA822P	新千歳空港	仙台空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を運航規程に基づく方法で行わなかった。	
6/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA858A	—	—	装備品整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	
6/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA460A	—	—	定時整備中、第2エンジンナセルに腐食が発見された。	
6/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA460A	—	—	定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
6/7	日本航空	ボーイング式787-9型	JA878J	成田国際空港	ハノイ	飛行中、乗客のたばこにより化粧室の煙探知機が作動した。	
6/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA611A	—	—	定時整備中、胴体の構造部に亀裂が発見された。	
6/8	日本航空	ボーイング式787-8型	JA845J	バンクーバー	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
6/8	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA16AN	仙台空港	新千歳空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/8	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA08FJ	福岡空港	松本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/8	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA815A	東京国際空港	広島空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
6/9	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA816A	東京国際空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/9	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA835A	東京国際空港	大阪国際空港	運航乗務員が乗務後のアルコール検査を実施していないことが判明した。	
6/10	日本航空	ボーイング式767-300型	JA617J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
6/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	東京国際空港	百里飛行場	運航整備中、胴体抽気系統の漏えい検知機の不具合を発見した。	
6/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	東京国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	東京国際空港	下地島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	神戸空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/12	日本航空	エアバス式A350-941型	JA14XJ	東京国際空港	那覇空港	上昇中、管制指示高度を逸脱した。	
6/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA656J	—	—	社内調査の結果、カウリングのへこみに対して誤った構造修理を実施していたことが判明した。	



日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/12	ジェイエア	エンブラエル式 ERJ190-100STD型	JA243J	大阪国際空港	青森空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
6/12	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA772F	シカゴ	成田国際空港	機長に危険物搭載通知が手交されないまま運航した。	
6/13	日本航空	エアバス式A350-941型	JA08XJ	東京国際空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/13	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA891A	成田国際空港	上海(浦東)	無申告危険物を輸送した。	
6/14	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA823P	鹿児島空港	関西国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式 ERJ170-200STD型	JA08FJ	—	—	社内調査の結果、発動機の一部のパーツの交換期限を超過して運航していたことが判明した。	
6/15	日本航空	ボーイング式787-8型	JA841J	シアトル	成田国際空港	貨物パレットを違う位置に搭載した結果、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
6/15	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	北九州空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/15	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	ホーチミン	成田国際空港	到着後、作業用端末が貨物室で発見された。	
6/15	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA796A	ニューヨーク	東京国際空港	到着後、危険物が漏洩していることを発見した。	
6/15	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA818A	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/16	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA735J	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/16	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA738J	シカゴ	東京国際空港	無申告危険物の輸送	
6/17	日本航空	エアバス式A350-941型	JA07XJ	東京国際空港	福岡空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
6/17	学校法人 ヒラタ学園	エアバス・ヘリコプターズ式BK117D-2型	JA903H	長崎医療センター	長崎県諫早市高	メインローターブレードの損傷に対し必要な点検を行わずに運航していたことが判明した。	
6/18	Peach Aviation	エアバス式A321-251NX型	JA902P	関西国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	福岡空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/20	日本航空	ボーイング式767-300型	JA617J	シンガポール	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
6/20	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA837A	成田国際空港	上海(浦東)	無申告危険物を輸送した。	
6/20	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA833A	東京国際空港	新千歳空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/20	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA04JJ	関西国際空港	那覇空港	出発準備中、航空機衝突防止装置の不具合が発見された。	
6/20	岡山航空	テキストロン・アビエーション式525型	JA10MZ	岡山空港	東京国際空港	降下中、自動操縦装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示高度を逸脱した。	
6/20	本田航空	セスナ式172S型	JA37HA	—	—	社内調査の結果、マグネットのオーバーホール期限を超過して運航していたことが判明した。	
6/20	本田航空	セスナ式172S型	JA71HU	—	—	社内調査の結果、マグネットのオーバーホール期限を超過して運航していたことが判明した。	
6/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	神戸空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/22	日本航空	エアバス式A350-941型	JA13XJ	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/22	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA222A	大分空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/22	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA793A	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/22	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA04JJ	長崎空港	成田国際空港	出発準備中、航空機衝突防止装置の不具合が発見された。	
6/23	雄飛航空	ロビンソン式R44型	JA33VR	川島場外離着陸 条	川島場外離着陸 条	着陸の際、強めの設置となり、Cross tubesを損傷させた。	
6/23	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847A	—	—	定時整備中、第1エンジンセルに腐食が発見された。	
6/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AC	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/23	日本航空	エアバスA350-941型	JA03XJ	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/23	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA811A	大阪国際空港	那覇空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
6/23	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA05JJ	成田国際空港	高知空港	着陸時、客室乗務員が負傷した。	航空事故
6/24	日本航空	ボーイング式787-9型	JA872J	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA345J	大阪国際空港	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/24	静岡エアコムーター	レオナルド式AW109SP型	JA18AC	—	—	搭載用航空日誌への整備記録の記載漏れがあった。	
6/24	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	香港	成田国際空港	上昇中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/24	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA73AN	松山空港	那覇空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/24	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA04JJ	成田国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/25	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	熊本空港	大阪国際空港	飛行中、機体が動揺した際、客室乗務員が負傷した。	航空事故
6/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	新千歳空港	中部国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	東京国際空港	福岡空港	着陸後の地上走行中、ブレーキの一部が解除されなくなった。	
6/26	日本航空	ボーイング式767-300型	JA614J	鹿児島空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/26	日本航空	ボーイング式777-200型	JA709J	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、操縦室内に異臭があったため酸素マスクを使用した。	イレギュラー運航
6/26	日本エアコムーター	ATR式42-500型	JA02JC	喜界空港	奄美空港	進入中、脚が通常と異なる位置にあることを示す計器表示があった。	
6/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8358	成田国際空港	バンコク	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
6/27	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA825P	仙台空港	関西国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/27	日本航空	ボーイング式787-9型	JA872J	ロサンゼルス	成田国際空港	飛行中、与圧系統に不具合発生した。	
6/27	日本航空	ボーイング式787-9型	JA870J	バンコク	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
6/27	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	松本空港	札幌飛行場	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
6/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	東京国際空港	新千歳空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	新千歳空港	東京国際空港	降下中、確認が不足したことから運用限界速度を超過した。	
6/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	—	—	定時整備中、胴体の構造部に亀裂が発見された。	
6/29	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	—	—	装備品整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	
6/29	日本航空	エアバスA350-941型	JA13XJ	東京国際空港	新千歳空港	当初予定していた進入方式が使用できないことを示す計器表示があったため、非常事態宣言をした。	イレギュラー運航
6/29	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA05MC	中部国際空港	福岡空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/29	全日本空輸	エアバスA321-272N型	JA151A	鹿児島空港	東京国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	—	—	定時整備中、高揚力装置(スラット)が非常用作動しなかった。	
6/30	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA892A	成田国際空港	ブリュッセル	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/1	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA853A	仙台空港	中部国際空港	飛行中、与圧系統に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
7/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	—	—	定時整備中、胴体の構造部に亀裂が発見された。	
7/1	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA772F	シカゴ	成田国際空港	誤った情報で危険物を輸送したことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/2	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	成田国際空港	ボストン	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	—	—	定時整備中、左パイロンの構造部に亀裂が発見された。	
7/2	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA717A	—	—	特別整備にて、エンジンカウルの一部に指定の部品ではないものが使用されていたことが判明した。	
7/2	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA742A	—	—	特別整備にて、エンジンカウルの一部に指定の部品ではないものが使用されていたことが判明した。	
7/4	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA922A	マニラ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	—	—	定時整備中、第1エンジンの外皮に腐食が発見された。	
7/5	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA07JC	奄美空港	喜界空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
7/6	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA15VA	関西国際空港	鹿児島空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を受けなかったことが判明した。	
7/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	東京国際空港	神戸空港	社内調査の結果、構造修理の処置並びに持ち越し処理に不備があったことが判明した。	
7/6	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	ニューヨーク	アンカレッジ	地上担当者の確認不足により、誤った個数の情報で危険物を輸送したことが判明した。	
7/6	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC	与論空港	那覇空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/7	日本航空	ボーイング式787-8型	JA846J	大阪国際空港	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/7	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA732J	シカゴ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/8	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA07VA	関西国際空港	新千歳空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
7/8	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA14AN	帯広空港	東京国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
7/8	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA831A	東京国際空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/9	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA201P	関西国際空港	仙台空港	飛行計画の変更通知を行わずに運航した。	
7/9	日本航空	ボーイング式767-300型	JA601J	小松飛行場	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/9	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA892A	ワシントン	成田国際空港	上昇中、フラップに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
7/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847A	秋田空港	新千歳空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/11	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA818A	東京国際空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA615A	大阪国際空港	東京国際空港	降下中、確認不足により管制指示高度を逸脱した。	
7/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	東京国際空港	鹿児島空港	機体の抽気関係の部品交換時に不適切な整備処置が行われた。	
7/12	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA244J	宮崎空港	東京国際空港	運航乗務員が、規定された休養時間を満たさず乗務した。	
7/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8358	成田国際空港	バンコク	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
7/13	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA827P	関西国際空港	新石垣空港	飛行中、客室ドアハンドルが適切な位置にないことが判明した。	
7/13	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	東京国際空港	広州(中国)	運航基準で設定されている値を満たさない状態で離陸した。	
7/13	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	宮古空港	中部国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/13	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA607A	—	—	運航整備中、非常用照明の不具合が発見された。	
7/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航法計器に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA603A	ホーチミン	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	バンコク	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
7/14	日本航空	エアバス式A350-941型	JA05XJ	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/14	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	東京国際空港	ニューヨーク	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/14	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA874A	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/14	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA55AN	大分空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/15	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA827P	関西国際空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
7/15	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA820P	鹿児島空港	中部国際空港	運用許容基準を適用にあたり必要な措置を行っていなかったことが判明した。	
7/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	鹿児島空港	神戸空港	地上走行中、エルロントリムの操作を行ったところ通常と異なる感覚であった。	
7/15	日本航空	ボーイング式787-9型	JA875J	ハノイ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/15	朝日航洋	川崎式BK117C-2型	JA6924	旭川医科大学病院	広域紋別病院場	飛行中、燃料移送ポンプに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
7/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	下地島空港	神戸空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/16	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	壱岐空港	長崎空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/16	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA790A	成田国際空港	シカゴ	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/16	ソラシディア	ボーイング式737-800型	JA807X	那覇空港	新石垣空港	飛行中、機体が動揺した際、客室乗務員1名が負傷した。	航空事故
7/17	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	広島空港	降下中、標準到着経路の高度制限に関する確認が不足したことから、標準到着経路の高度制限を逸脱した。	
7/17	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	中部国際空港	福岡空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	バンコク	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
7/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NR	神戸空港	新千歳空港	飛行中、航法装置に不具合があったことを示す計器表示があった。	
7/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	アンカレッジ	成田国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/18	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/18	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	東京国際空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NY	東京国際空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/19	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	中部国際空港	宮古空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/19	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA921A	マニラ	東京国際空港	確認が不足したことから客室扉の窓を着陸用に切り替えずに着陸した。	
7/20	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	壱岐空港	長崎空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/20	日本航空	ボーイング式767-300型	JA608J	マニラ	成田国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/20	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA27MC	北九州空港	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/20	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA772F	シカゴ	成田国際空港	機長に誤った記載内容の危険物搭載通知が手交され、運航した。	
7/20	ソラシディア	ボーイング式737-800型	JA802X	—	—	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
7/21	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	壱岐空港	着陸後の地上走行中、客室内の証明のカバーが外れ落下した。	
7/21	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	対馬空港	長崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/22	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	福江空港	脚上げ操作を実施したが、脚が正常に上がらなかった。	イレギュラー運航

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/22	日本航空	ボーイング式737-800型	JA310J	関西国際空港	東京国際空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/22	日本航空	ボーイング式787-9型	JA870J	ロサンゼルス	成田国際空港	無申告危険物の輸送(機器組み込みリチウムイオン電池3個の郵便での輸送)	
7/22	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	東京国際空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA611A	東京国際空港	熊本空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/24	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA842A	福岡空港	小松飛行場	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
7/24	日本航空	ボーイング式787-9型	JA871J	ダラス	成田国際空港	上昇中、フラップの運用限界速度を超過した。	
7/24	日本航空	ボーイング式787-8型	JA829J	ホーチミン	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/25	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA08AN	仙台空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA807X	東京国際空港	熊本空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/26	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J	関西国際空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	—	—	定例整備中に整備委託先において、正規の方法にて部品が取り付けられていない事が判明した。	
7/27	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA58AN	関西国際空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
7/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	—	—	定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
7/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	—	—	定時整備中、胴体後方の構造部に亀裂が発見された。	
7/27	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	与論空港	那覇空港	整備要目の実施期限を超過した。	
7/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	仙台空港	仙台空港	試験飛行中、与圧系統の不具合が発生した。	
7/28	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA56AN	宮崎空港	大阪国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/28	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A	小松飛行場	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	—	—	定時整備中、胴体前方の構造部に腐食が発見された。	
7/29	ANAウイングス	—	—	—	—	客室乗務員が、運航規程に定める飲酒禁止期間内に飲酒を行った。	
7/29	ANAウイングス	—	—	—	—	客室乗務員が、運航規程に定める飲酒禁止期間内に飲酒を行った。	
7/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	新千歳空港	百里飛行場	地上走行中、操縦系統(エルロントリム)に不具合が発生した。	
7/29	朝日航洋	シコルスキー式S-76C型	JA6693	—	—	定時整備中、胴体の構造部に腐食が発見された。	
7/29	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA13FJ	熊本空港	静岡空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
7/29	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	大阪国際空港	那覇空港	降下中、管制指示経路の確認が不足したことから、管制指示経路を逸脱した。	
7/29	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA141A	東京国際空港	熊本空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
7/29	全日本空輸	エアバス式A380-841型	JA381A	ホノルル	成田国際空港	飛行中、燃料タンクの燃料量の左右差が運用許容限界を超過した。	
7/29	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	—	—	夜間駐機中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
7/30	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA09VA	成田国際空港	新千歳空港	離陸時、ギャレーのコンテナが飛び出した。	
7/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	新千歳空港	東京国際空港	地上走行中、操縦系統(エルロントリム)に不具合が発生した。	
7/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA346J	関西国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	那覇空港	新石垣空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/31	新中央航空	ルアグ式Dornier 228-212型	JA33CA	調布飛行場	神津島空港	航空機乗組員の乗務時間が規定で定める上限を超えた状態で乗務した。	
7/31	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA04RK	宮古空港	関西国際空港	運航整備中、操縦系統(グランドスポイラー)の不具合が発見された。	
7/31	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA219J	徳之島空港	鹿児島空港	離陸時、第2エンジンの排気ガス温度が運用限界を超過した。	
8/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	中部国際空港	福岡空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/1	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA136A	大阪国際空港	東京国際空港	確認不足により、貨物室の不具合に対して適用した運用許容基準の要件を満たしていない状態で運航したことが判明した。	
8/1	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	ニューヨーク	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/2	日本航空	ボーイング式777-200型	JA709J	東京国際空港	那覇空港	飛行中、第1エンジンに不具合が発生したため、緊急を宣言の上、引き返した。	イレギュラー運航
8/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	成田国際空港	上海(浦東)	地上担当者の確認間違いにより、無申告で翌日便に予約されていた危険物を誤って輸送したことが判明した。	
8/2	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA211J	大阪国際空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/2	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01AM	熊本空港	天草飛行場	社内調査の結果、燃料系統の不具合に対して誤った運用許容基準を適用して運航したことが判明した。	
8/3	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA09VA	新千歳空港	仙台空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/3	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA848A	-	-	定時整備中、第1エンジンナセルに腐食が発見された。	
8/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	中部国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/3	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	成田国際空港	ダラス	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	山口宇部空港	東京国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/4	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA75AN	大阪国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/4	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	東京国際空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/4	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	成田国際空港	ロサンゼルス	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/5	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA815A	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/5	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA219A	釧路空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/5	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	成田国際空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/6	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	香港	成田国際空港	上昇中、主脚格納扉が確実に閉まっていないことを示す計器表示があった。	
8/7	日本航空	ボーイング式767-300型	JA617J	バンクーバー	成田国際空港	地上作業員が作業用電子機器を貨物室に置き忘れた。	
8/7	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA921A	マニラ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/8	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA602F	ハノイ	成田国際空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
8/8	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01AM	熊本空港	大阪国際空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
8/9	フジビジネスジェット	セスナ式525A型	JA359C	静岡空港	那覇空港	航空機乗組員が有効期限が切れたアルコール検査機器を使用して検査を行った。	
8/9	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	徳島飛行場	新千歳空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
8/9	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA05RK	那覇空港	宮古空港	離陸滑走中、扉が開いたことを示すライトが点灯した。	
8/9	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA09RK	那覇空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8358	成田国際空港	北京	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
8/10	フジビジネスジェット	セスナ式525A型	JA359C	那覇空港	静岡空港	整備士が有効期限が切れたアルコール検査機器を使用して検査を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/10	フジビジネスジェット	セスナ式525A型	JA359C	那覇空港	静岡空港	整備士が有効期限が切れたアルコール検査機器を使用して検査を行った。	
8/10	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	—	—	不適切な整備処置を実施した。	
8/10	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA891A	—	—	定例整備にて、エンジンの一部に指定の部品でないものが使用されていたことが判明した。	
8/10	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA933A	ロンドン	東京国際空港	客室乗務員が有効期限が切れたアルコール検査機器を使用して検査を行った。	
8/11	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA460A	大阪国際空港	青森空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
8/11	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA09FJ	名古屋飛行場	福岡空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
8/11	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA809A	那覇空港	東京国際空港	自動操縦装置に入力した値が、装置側の不具合にて入力後に変更になることで、管制指示高度を逸脱した。	
8/11	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA74AN	岩国飛行場	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/11	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA808X	東京国際空港	宮崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/12	日本航空	ボーイング式737-800型	JA310J	那覇空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/12	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA09JC	福岡空港	出雲空港	上昇中、飛行管理装置に不具合が発生した。	
8/12	朝日航洋	セスナ式680型	JA04AA	名古屋飛行場	名古屋飛行場	脚上げ操作を実施したが、脚が正常に上がらなかった。	
8/12	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA605F	ホノルル	成田国際空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
8/13	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA205P	成田国際空港	福岡空港	進入中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA821A	東京国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/14	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	—	—	定時整備中、第1エンジンナセルに腐食が発見された。	
8/14	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	サンフランシスコ	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/14	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA08AN	東京国際空港	女満別空港	着陸時、エンジンの逆推力装置の操作レバーが動かなかった。	
8/14	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA813X	那覇空港	東京国際空港	地上走行中、ブレーキの一部が解除されなくなった。	
8/15	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA207P	関西国際空港	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/15	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA56AN	長崎空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA304J	中部国際空港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/15	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA809X	東京国際空港	那覇空港	不適切な整備処置を実施した。	
8/16	日本航空	ボーイング式787-8型	JA821J	台北(松山)	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/16	静岡エアコミュータ	フィンメカニカ式AW109SP型	JA70RC	—	—	搭載用航空日誌への整備記録の記載漏れがあった。	
8/16	静岡エアコミュータ	フィンメカニカ式AW109SP型	JA70RC	—	—	搭載用航空日誌への整備記録の記載漏れがあった。	
8/16	静岡エアコミュータ	フィンメカニカ式AW109SP型	JA70RC	—	—	搭載用航空日誌への整備記録の記載漏れがあった。	
8/16	静岡エアコミュータ	フィンメカニカ式AW109SP型	JA70RC	—	—	搭載用航空日誌への整備記録の記載漏れがあった。	
8/16	静岡エアコミュータ	フィンメカニカ式AW109SP型	JA70RC	—	—	搭載用航空日誌への整備記録の記載漏れがあった。	
8/16	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA249J	富崎空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/16	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA220A	東京国際空港	高知空港	運航整備中、Toilet Servicing and Drainage Door不具合に伴う整備処置として添付していたAL Tapeが脱落していることを発見した	
8/17	エアージャパン	—	—	—	—	運航乗務員のアルコール検査記録の一部を誤って廃棄した。	







日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/24	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA622A	成田国際空港	東京国際空港	上昇中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
8/24	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	—	—	定時整備中、左胴体脚の非常脚下げ装置の不具合を発見した。	
8/25	日本航空	ボーイング式767-300型	JA622J	鹿児島空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/25	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA613A	新千歳空港	東京国際空港	離陸時、ロックを失念したことからギャレーからコンテナ(ゴミ箱)が滑り出た。	
8/25	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA936A	東京国際空港	福岡空港	乗客が落としたライターが、座席機槽に挟まり火花が見えたため、客室乗務員が消火器を使用した。	
8/26	日本航空	エアバス式A350-941型	JA05XJ	福岡空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/26	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA808X	宮崎空港	東京国際空港	着陸後の地上走行中、ブレーキの一部が解除されなくなった。	イレギュラー運航
8/27	日本航空	ボーイング式787-8型	JA831J	成田国際空港	ホーチミン	飛行中、副操縦士側(右側)の操縦室窓にひび割れが発生したため引き返した。	イレギュラー運航
8/28	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA53AN	新千歳空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	アンカレッジ	整備担当者の誤った判断により、バルクカーゴアの擦り傷に対して適切な整備処置をせず飛行した。	
8/28	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA928A	東京国際空港	フランクフルト	上昇中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
8/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/29	全日本空輸	—	—	—	—	装備品整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	
8/30	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	大阪国際空港	福島空港	運航整備中に整備委託先において、正規の方法にて部品が取り付けられていない事が判明した。	
8/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	東京国際空港	台北(桃園)	定時整備中、客室内の酸素マスクの一部の不具合が発見された。	
8/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	東京国際空港	長崎空港	上昇中、急な管制指示により、指示高度を超過した。	
8/30	日本航空	エアバス式A350-941型	JA14XJ	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/30	日本航空	エアバス式A350-941型	JA10XJ	那覇空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/31	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J	東京国際空港	久米島空港	管制指示高度を逸脱した。	
8/31	日本航空	ボーイング式767-300型	JA607J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/31	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA605A	—	—	運航整備中、脱出スライドの不具合が発見された。	
9/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA343J	東京国際空港	大分空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA320J	グアム	グアム	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/1	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA928A	東京国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	—	—	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
9/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	—	—	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
9/2	日本航空	ボーイング式767-300型	JA654J	出雲空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/2	日本航空	ボーイング式737-800型	JA321J	東京国際空港	女満別空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	ホルルル	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
9/3	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	長崎空港	対馬空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したため引き返した。	イレギュラー運航
9/3	日本航空	ボーイング式787-8型	JA835J	ホーチミン	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/3	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA139A	秋田空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/3	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA212A	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/4	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA01GR	広島空港	成田国際空港	降下中、フラップ展開時の運用限界速度を超過した。	
9/4	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	ジャカルタ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/4	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA07RK	中部国際空港	那覇空港	降下中、前方(EQUIP)ドアの不具合を示す計器表示があった。	
9/5	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	ジャカルタ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/5	日本航空	ボーイング式787-8型	JA849J	大阪国際空港	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/5	日本航空	ボーイング式787-9型	JA862J	ホノルル	東京国際空港	到着後、作業用電子機器が貨物室で発見された。	
9/5	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	福岡空港	成田国際空港	地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/6	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA73AN	新潟空港	大阪国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/6	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA72AN	旭川空港	中部国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/6	日本航空	エアバス式A350-941型	JA16XJ	—	—	耐空性改善通報により、取付けが認められていない部品が取り付けられていることが判明した。	
9/6	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA11FJ	札幌飛行場	札幌飛行場	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/7	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	—	—	点検整備中に整備委託先において、正規の方法にて部品が取り付けられていない事が判明した。	
9/8	日本航空	ボーイング式787-9型	JA882J	—	—	実施した整備作業が航空日誌で法確認されていないことが判明した。	
9/8	日本航空	エアバス式A350-941型	JA09XJ	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	日本航空	ボーイング式777-200型	JA701J	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA135A	東京国際空港	岡山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	中部国際空港	福岡空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/9	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA794A	成田国際空港	ロサンゼルス	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	仙台空港	広島空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/10	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA16AN	女満別空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/11	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	大阪国際空港	秋田空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
9/11	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	—	—	定時整備中、第1エンジンナセルに腐食が発見された。	
9/11	日本航空	ボーイング式787-9型	JA867J	香港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/11	日本航空	ボーイング式767-300型	JA616J	成田国際空港	グアム	着陸時、エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/12	日本航空	ボーイング式737-800型	JA344J	釧路空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/13	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	那覇空港	宮古空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	アンカレッジ	成田国際空港	整備用スマートフォンを機内に置き忘れたまま出発しGTBとなった。	
9/14	エアー・ジャパン	ボーイング式787-9型	JA897A	シンガポール	成田国際空港	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	神戸空港	仙台空港	航法装置の一部の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	日本航空	エアバス式A350-941型	JA02XJ	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A	鹿児島空港	東京国際空港	運航整備中、発動機カウル内の一部の部材が脱落していることを発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/14	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA743A	東京国際空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	ジャカルタ	成田国際空港	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	成田国際空港	ジャカルタ	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	クアラルンプール	成田国際空港	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	成田国際空港	クアラルンプール	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	バンクーバー	成田国際空港	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	成田国際空港	バンクーバー	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/16	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	豊岐空港	長崎空港	地上滑走中、対地接近警報装置に不具合が発生した。	
9/16	日本航空	ボーイング式787-9型	JA870J	シカゴ	成田国際空港	無申告危険物の輸送(エアゾール)	
9/16	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA839A	シアトル	成田国際空港	飛行中、機内通話装置に不具合が発生した。	
9/17	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA87AN	那覇空港	福岡空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
9/17	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	—	—	乗員からのコメントにより、機体を点検したところ、整備委託先において、正規に組み込まれる部品の一部が欠落して組み込まれていたことが判明した。	
9/17	日本航空	ボーイング式787-9型	JA864J	ダラス	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/17	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA887A	マニラ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/17	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA751A	新千歳空港	東京国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
9/17	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA811A	富古空港	東京国際空港	飛行中、空調系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったことから、緊急事態を宣言の上、目的地を変更した。	イレギュラー運航
9/18	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA12RK	那覇空港	新石垣空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/18	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA806	東京国際空港	ジャカルタ	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
9/20	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA464A	大阪国際空港	青森空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
9/20	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA463A	大阪国際空港	松山空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/20	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA801A	成田国際空港	香港	着陸時に指定のスイッチ操作を行わなかったため、対地接近警報装置が作動した。	
9/21	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	大阪国際空港	仙台空港	飛行中、2系統の表示、警告機能を有する表示装置に不具合が発生した。	
9/21	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA14RJ	仙台空港	仙台空港	定時整備中、与圧系統の不具合が発見された。	
9/21	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA816A	東京国際空港	富古空港	上昇中、第1エンジンの過熱を示す計器表示があったことから、緊急を宣言の上、引き返した。	イレギュラー運航
9/22	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	—	—	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
9/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	秋田空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/22	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	長崎空港	対馬空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/23	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA59AN	富山空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/23	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	香港	成田国際空港	運航整備中、エンジンラスタレバー アクセスパネルの一部のスクリーンに、製造者が認めていない部品が取り付けられていたことが判明した。	
9/23	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA134A	小松飛行場	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	ホノルル	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/24	日本航空	エアバス式A350-941型	JA14XJ	東京国際空港	大阪国際空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
9/24	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA605F	アモイ(中国)	成田国際空港	運航整備中、第2エンジンカウルの一部の部材が脱落していることを発見した。	
9/25	日本航空	ボーイング式767-300型	JA618J	成田国際空港	バンクーバー	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/25	日本航空	ボーイング式737-800型	JA323J	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/25	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA11FJ	福岡空港	名古屋飛行場	航空機製造者により取り付けことが認められていない誤った装備品(座席のシートベルト)が取り付けられていたことが判明した。	
9/25	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA884A	バンクーバー	成田国際空港	飛行中、操縦室内に異臭があったため酸素マスクを使用した。	
9/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	東京国際空港	神戸空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/26	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	長崎空港	対馬空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したため引き返した。	イレギュラー運航
9/26	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	日本航空	エアバス式A350-941型	JA04XJ	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	仙台空港	仙台空港	試験飛行中、与圧系統(安全弁)の不具合が発見された。	
9/27	日本航空	ボーイング式767-300型	JA607J	-	-	実施した整備作業が法確認として航空日誌に記載されていないことが判明した。	
9/28	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	-	-	社内調査の結果、耐空性改善通報による点検期限を超過していたことが判明した。	
9/28	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA07FJ	-	-	航空機製造者により取り付けことが認められていない誤った装備品(座席のシートベルト)が取り付けられていたことが判明した。	
9/28	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA879A	シドニー	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/28	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA63AN	-	-	定時整備中、水平安定板の構造部に腐食が発見された。	
9/28	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA790A	成田国際空港	シカゴ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/28	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA144A	東京国際空港	高知空港	運航整備中、機体の点検口に取り付く固定用のTapeが脱落していることを発見した。	
9/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	-	-	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
9/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	-	-	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
9/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	-	-	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
9/29	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	-	-	不適切な整備処置を実施した。	
9/29	FPGエアサービス	パイパー式PA-34-220T型	JA01YM	与論空港	奄美空港	飛行中、脚の不具合を示す計器表示があった。	イレギュラー運航
9/29	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA137A	小松飛行場	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/30	日本航空	ボーイング式787-9型	JA872J	ロサンゼルス	関西国際空港	機長に危険物搭載通知が報告されないまま運航した。	
9/30	日本航空	ボーイング式777-200型	JA702J	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/30	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	下地島空港	下地島空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/30	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA01JJ	関西国際空港	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/1	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA61AN	中部国際空港	東京国際空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
10/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	神戸空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/1	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	バンコク	成田国際空港	燃料に関する運用限界を超過した。	
10/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	大阪国際空港	大分空港	飛行中、トイレドアに不具合が発生した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
10/2	ソラシディア	ボーイング式737-800型	JA803X	新石垣空港	那覇空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が作動しなかった。	
10/2	ソラシディア	ボーイング式737-800型	JA813X	東京国際空港	那覇空港	離陸後、航空機衝突防止装置(TCAS)に不具合が発生した。	
10/3	日本航空	ボーイング式787-9型	JA876J	バンコク	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/3	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA07RK	那覇空港	小松飛行場	航行中、機体が動揺し客室乗務員が負傷した。	航空事故
10/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA27MC	—	—	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
10/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA26MC	—	—	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
10/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA25MC	—	—	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
10/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	—	—	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
10/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA22MC	—	—	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
10/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	—	—	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
10/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC	—	—	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
10/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA09MC	—	—	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
10/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	—	—	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
10/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	—	—	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
10/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	—	—	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
10/3	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA136A	那覇空港	福岡空港	機内に危険物が持ち込まれたことが判明したためGTBLした。	
10/4	日本航空	ボーイング式787-9型	JA882J	東京国際空港	ダラス	風速の急変により、管制指示高度を逸脱した。	
10/5	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	—	—	不適切な整備処置の実施が確認された。	
10/5	四国航空	ユーロコプター式AS350B3型	JA6511	高知空港	高知空港	巡視中、テールローターブレードを架空地線に接触させた。	イレギュラー運航
10/5	全日本空輸	—	—	—	—	整備従事者が業務開始前のアルコール検査を実施せずに業務した。	
10/5	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA16JJ	福岡空港	中部国際空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/6	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA53AN	鳥取空港	東京国際空港	進入中、管制指示経路を逸脱した。	
10/6	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA605A	—	—	不適切な整備処置を実施した。	
10/6	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA132A	東京国際空港	佐賀空港	無申告危険物を輸送した。	
10/6	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	ニューヨーク	東京国際空港	危険物を誤輸送した。	
10/6	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA82RC	新石垣空港	与那国空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	東京国際空港	台北(桃園)	定時整備中、客室内の一部のFlashlightが点灯しないことを発見した。	
10/7	日本航空	ボーイング式767-300型	JA619J	—	—	定時整備中、胴体構造部にクラックを発見した。	
10/7	日本航空	ボーイング式787-9型	JA864J	シアトル	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/7	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA11JC	沖永良部空港	那覇空港	進入中、管制指示高度を逸脱した。	
10/8	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J	東京国際空港	宮崎空港	管制指示高度を逸脱した。	
10/8	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA733J	ロンドン	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
10/8	朝日航洋	セスナ式680型	JA680C	東京国際空港	那覇空港	飛行中、脚の不具合を示す計器表示があった。	
10/9	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	—	—	与圧系統の不具合が確認された。	
10/10	日本航空	ボーイング式737-800型	JA317J	新千歳空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/10	日本航空	エアバス式A350-941型	JA05XJ	東京国際空港	新千歳空港	鳥衝突により機体が損傷した。	
10/10	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	香港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA610A	広島空港	東京国際空港	逆推力装置の不具合の運用許容基準適用時に、必要な整備処置を実施せず運航した。	
10/11	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	—	—	不適切な整備処置の実施が確認された。	
10/11	日本航空	ボーイング式787-9型	JA877J	シカゴ	東京国際空港	到着後、作業用電子機器が貨物室で発見された。	
10/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	新千歳空港	神戸空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA606J	バンクーバー	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/12	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA739J	ロンドン	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/12	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA22JJ	関西国際空港	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
10/13	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	—	—	試験時、非常用装置が正常に作動しなかった。	
10/13	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	高知空港	大阪国際空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
10/13	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA241J	大阪国際空港	長崎空港	APU使用の運用限界高度を超過した。	
10/13	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA821A	東京国際空港	那覇空港	Stretcher取り付けに伴う着席不可表示(Placard)を誤った場所に取り付けた。	
10/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	ハノイ	成田国際空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
10/14	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	釧路空港	新千歳空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/14	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847A	大阪国際空港	松山空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
10/14	日本航空	ボーイング式787-9型	JA835J	ホーチミン	東京国際空港	客室乗務員をOverhead Flight Attendant Rest内に滞在させたまま、着陸を行った。	
10/14	日本航空	ボーイング式787-8型	JA842J	ジャカルタ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/15	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA12VA	中部国際空港	新千歳空港	客室乗務員が、運航規程に基づくアルコール検査を適切に行わなかった。	
10/15	ジャネット	ベル式206B型	JA6113	能登空港	能登空港	他機使用中に滑走路から離陸した。	重大インシデント
10/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8358	成田国際空港	ハノイ	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
10/17	日本航空	ボーイング式737-800型	JA339J	徳島飛行場	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/17	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA612A	—	—	誤った部品を取り付けた。	
10/17	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA09FJ	名古屋飛行場	福岡空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
10/17	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA222A	徳島飛行場	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/17	全日本空輸	エアバス式A321-211型	JA114A	東京国際空港	岡山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/18	日本航空	ボーイング式787-8型	JA843J	メルボルン	成田国際空港	電源の入った電子機器(可搬無線機)を輸送していたことが判明した。	
10/18	朝日航洋	シヨルスキー式S-76D型	JA6961	名古屋飛行場	南紀白浜空港	管制指示高度を逸脱した。	
10/18	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA220A	関西国際空港	新千歳空港	管制指示経路を逸脱した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
10/18	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA886A	成田国際空港	上海(浦東)	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/18	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA713A	東京国際空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/19	日本航空	ボーイング式737-800型	JA333J	東京国際空港	岡山空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/19	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA805A	ロサンゼルス	東京国際空港	危険物を誤輸送した。	
10/19	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA743A	—	—	誤った部品を取り付けた。	
10/19	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA922A	シドニー	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/19	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA815A	那覇空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/20	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	豊岐空港	長崎空港	飛行中、第1(左側)エンジンのトルク計及びプロペラ回転計の指示値が過大となった。	イレギュラー運航
10/20	日本航空	ボーイング式767-300型	JA615J	東京国際空港	福岡空港	飛行中、脚関連の不具合を示す表示が出たため引き返した。	イレギュラー運航
10/20	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA809A	東京国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
10/21	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA839A	ワシントン	成田国際空港	無申告危険物を輸送した。	
10/21	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA713A	福岡空港	東京国際空港	運航整備中、Spanwise Sealが脱落していることを発見した。	
10/22	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	釧路空港	成田国際空港	誤った運用許容基準を適用し運航した。	
10/22	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	成田国際空港	釧路空港	誤った運用許容基準を適用した。	
10/22	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	新千歳空港	成田国際空港	誤った運用許容基準を適用した。	
10/22	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	仙台空港	新千歳空港	誤った運用許容基準を適用した。	
10/22	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	関西国際空港	仙台空港	誤った運用許容基準を適用し飛行した。	
10/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A	仙台空港	中部国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/22	日本航空	ボーイング式787-9型	JA866J	ダラス	成田国際空港	無申告危険物の輸送	
10/23	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA81AN	石見空港	東京国際空港	出発後、地上滑走中に危険物が発見され、引き返し、取り下ろした。	
10/23	日本航空	ボーイング式737-800型	JA304J	東京国際空港	岡山空港	巡行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/23	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA76AN	東京国際空港	富山空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
10/24	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	福岡空港	仙台空港	巡航中、航空機衝突防止装置(TCAS)に不具合が発生した。	
10/24	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA894A	シドニー	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/25	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	—	—	不適切な整備処置の実施が確認された。	
10/25	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	—	—	WASHERの取り付け位置が誤っていた。	
10/26	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA14RJ	—	—	整備中、非常用照明が一部点灯しないことを発見した。	
10/27	日本航空	ボーイング式787-9型	JA864J	ダラス	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	成田国際空港	上海(浦東)	荷主から無申告の危険物を輸送した。	
10/29	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	東京国際空港	北京	降下中、フラップ展開時の運用限界速度を超過した。	
10/30	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA08AN	新千歳空港	福岡空港	飛行中、左右の燃料量の差が運用限界を超過した。	
10/31	日本航空	ボーイング式737-800型	JA304J	中部国際空港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	



日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
11/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	東京国際空港	台北(桃園)	定時整備中、客室内の酸素マスクの一部の不具合が発見された。	
11/1	朝日航洋	川崎式BK117C-2型	JA117R	前橋日赤地上場	渋川市内ランデブ	飛行中、第2エンジンの滑油圧力が低下したことを示す計器表示があったことから、引き返した。	イレギュラー運航
11/1	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	シカゴ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
11/2	日本航空	エアバス式A350-941型	JA16XJ	東京国際空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/2	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA875A	サンフランシスコ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
11/2	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA604F	大連	成田国際空港	貨物代理店所有無線機を貨物室のバレットに置き忘れたためGTBLした。	
11/3	日本航空	ボーイング式787-8型	JA838J	ダラス	成田国際空港	到着後、作業用電子機器が貨物室で発見された。	
11/3	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA825A	東京国際空港	新千歳空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
11/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	神戸空港	仙台空港	運航整備中、誤部品が発見された。	
11/4	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA796A	ロサンゼルス	東京国際空港	整備中、No.1 Engine Pylon Outboardに取り付くPanelの一部が脱落していることを発見した。	
11/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NY	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、誤部品が発見された。	
11/5	ソラシディア	ボーイング式737-800型	JA805X	東京国際空港	宮崎空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/6	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA465A	大阪国際空港	長崎空港	無申告危険物を輸送した。	
11/6	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA622J	広島空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/6	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA616A	函館空港	東京国際空港	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
11/6	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA879A	東京国際空港	ホーチミン	飛行中、燃料放出系統に不具合が発生した。	イレギュラー運航
11/6	ソラシディア	ボーイング式737-800型	JA801X	宮崎空港	中部国際空港	危険物の外装に不備のある状態で輸送した。	
11/7	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J	関西国際空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置(TCAS)に不具合が発生した。	
11/7	日本エアコミューター	ATR72-212A型	JA06JC	種子島空港	鹿児島空港	着陸時、乗客1名が第2腰椎を圧迫骨折した。なお、乗客の負傷に、着陸時の気象、操縦操作、機体が関与した要因はなかったものと推定される。	航空事故
11/8	日本航空	エアバス式A350-941型	JA06XJ	東京国際空港	福岡空港	着陸時、ギャレーからコンテナが飛び出した。	
11/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	東京国際空港	秋田空港	着陸時、エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/8	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA877A	成田国際空港	サンフランシスコ	乗客の手荷物であるモバイルバッテリーより煙が発生したため、消火器を使用した。	
11/9	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	広島空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置(TCAS)に不具合が発生した。	
11/9	日本航空	ボーイング式787-8型	JA823J	ホーチミン	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
11/9	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA871A	シアトル	成田国際空港	貨物室に搭載作業時に使用する電子機器端末を置き忘れたため、GTBLした。	
11/10	日本航空	ボーイング式787-8型	JA840J	—	—	不適切な整備処置を実施した。	
11/10	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA253J	鹿児島空港	大阪国際空港	管制指示高度を逸脱した。	
11/11	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	—	—	定時整備中、胴体構造部材に腐食が発見された。	
11/11	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA605A	新千歳空港	東京国際空港	降下中、第1(左側)エンジンの制御系統に不具合が発生した。	イレギュラー運航
11/11	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA828A	—	—	定時整備中、酸素マスクの自動落下試験において正常に落下しなかった。	
11/12	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	静岡空港	福岡空港	誤った重量重心位置で運航した。	
11/12	全日本空輸	ボーイング式787-900型	JA874A	台北(松山)	東京国際空港	不適切な整備処置を実施した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
11/13	ANAウイングス	ボンバルディア式 DHC-8-402型	JA844A	仙台空港	中部国際空港	離陸時、電波高度計の不具合によりEGPWS警告音が作動した。	
11/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式 ERJ170-100STD型	JA04FJ	仙台空港	出雲空港	管制指示高度を逸脱した。	
11/15	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC -8-402型	JA853A	—	—	定時整備中、第2エンジンナセルに腐食が発見された。	
11/15	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800 型	JA05RK	那覇空港	福岡空港	離陸時、航空機衝突防止装置(TCAS)に不具合が発生した。	
11/15	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800 型	JA08RK	新石垣空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
11/15	ジェイエア	エンブラエル式 ERJ170-100STD型	JA227J	大阪国際空港	新潟空港	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
11/16	中日本航空	セスナ式560型	JA120N	福岡空港	札幌飛行場	離陸上昇中、左側発動機に不具合が確認された。	イレギュラー運航
11/16	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	成田国際空港	バンコク	運用許容基準を未適用のまま運航した。	
11/17	日本航空	ボーイング式737-800 型	JA321J	東京国際空港	南紀白浜空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/17	日本航空	ボーイング式787-9型	JA877J	バンコク	成田国際空港	巡航中、高度制限を逸脱した。	
11/17	日本航空	ボーイング式787-8型	JA829J	バンコク	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
11/17	静岡エアコミュータ	レオナルド式 AW109SP型	JA18AC	—	—	不適切な整備処置を実施した。	
11/17	FPGエアサービス	パイパー式PA-34- 220T型	JA01YM	—	—	搭載用航空日誌に誤った整備記録を記載した。	
11/18	Peach Aviation	エアバス式A321- 251NX型	JA902P	新千歳空港	関西国際空港	PED POWER S/WがONの状態を着陸した。	
11/18	スカイマーク	ボーイング式737-800 型	JA737N	百里飛行場	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/18	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800 型	JA07RK	宮古空港	那覇空港	運航整備作業で、APU MASTER SWをOFFにしたが、APUがShutdownしなかった。	
11/18	ジェイエア	エンブラエル式 ERJ190-100STD型	JA254J	長崎空港	大阪国際空港	巡航中、キャビンに搭載されたカートが通路に飛び出した。	
11/19	日本航空	ボーイング式777- 200ER型	JA701J	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当するクラッカーが持ち込まれた。	
11/19	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	ロサンゼルス	成田国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
11/20	日本貨物航空	ボーイング式747-8F 型	JA16KZ	上海(浦東)	成田国際空港	巡航中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/20	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA824J	成田国際空港	バンコク	降下中、フラップ展開時の運用限界速度を超過した。	
11/21	日本航空	ボーイング式787-8型	JA831J	東京国際空港	香港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
11/21	ジェイエア	エンブラエル式 ERJ170-100STD型	JA226J	福岡空港	徳島飛行場	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/22	Peach Aviation	エアバス式A320- 251N型	JA203P	那覇空港	関西国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
11/22	スカイマーク	ボーイング式737-800 型	JA73NA	新千歳空港	東京国際空港	地上走行中、エルロン操作の際、鈍い反応を感じた。	
11/22	静岡エアコミュータ	エアバス・ヘリコプター ズ式EC135P2+型	JA06TV	—	—	整備時、右側後部シートトラックに焼損の痕跡を発見した。	
11/22	日本貨物航空	ボーイング式747-8F 型	JA16KZ	成田国際空港	アンカレッジ	巡航中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/22	ソラシドエア	ボーイング式737-800 型	JA807X	熊本空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった	
11/23	Peach Aviation	エアバス式A320-214 型	JA816P	台北(桃園)	東京国際空港	進入中の制限高度を逸脱した。	
11/23	ANAウイングス	ボンバルディア式 DHC-8-402型	JA856A	大阪国際空港	大分空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示すライトが点灯等した。	
11/23	日本航空	ボーイング式787-9型	JA872J	台北(松山)	東京国際空港	フラップ展開時の運用限界高度を超過した。	
11/24	全日本空輸	ボーイング式777-200 型	JA742A	東京国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
11/25	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA739J	東京国際空港	サンフランシスコ	飛行中、揺れにより客室内のCeiling Air Grillが落下した。	
11/25	日本航空	ボーイング式787-9型	JA874J	東京国際空港	ホノルル	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
11/25	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA222J	大阪国際空港	花巻空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する瞬間冷却剤が持ち込まれた。	
11/25	琉球エアークommuter	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC	那覇空港	久米島空港	離陸上昇中、与圧システムの不具合が確認された。	イレギュラー運航
11/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	福岡空港	東京国際空港	定時整備中、客室内の酸素マスクの一部の不具合が発見された。	
11/26	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J	那覇空港	新石垣空港	巡航中、第1エンジンの油圧システムに不具合が発生したことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
11/27	Peach Aviation	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA824P	成田国際空港	関西国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA818P	成田国際空港	大分空港	管制指示高度を逸脱した。	
11/29	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA86AN	新千歳空港	関西国際空港	進入中、速度制限を超過した。	
11/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	福岡空港	東京国際空港	航空機乗組員が業務に従事する時間等の制限を超えた状態で乗務した。	
11/29	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	成田国際空港	ロサンゼルス	客室乗務員が乗務前のアルコール検査を運航規程に基づく方法で行わなかった。	
11/29	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA742A	サンフランシスコ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
11/30	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA616J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
11/30	朝日航洋	エアバス・ヘリコプターズ式AS350B3型	JA6514	東京ヘリポート	茨城県守谷市内	飛行中、ローター回転数が運用限界を超過した。	イレギュラー運航
12/1	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA88AN	熊本空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
12/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA320J	中部国際空港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
12/1	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN	新千歳空港	仙台空港	飛行中、客室内のOVERHEAD COVER PANELが外れた。	
12/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	成田国際空港	上海(浦東)	荷主から無申告の危険物を輸送した。	
12/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	シカゴ	アンカレッジ	代替飛行場を選定せずに運航を実施した。	
12/1	フジドリームエアラインズ	—	—	—	—	地上運航従事者が、有効期限が切れたアルコール検査機器を使用して検査を行った。	
12/1	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA601F	大連	成田国際空港	機長に誤った記載内容の危険物搭載通知が手交された。	
12/1	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA615A	高松空港	東京国際空港	運航整備中、Thrust Reverser Wire Meshが脱落していることを発見した。	
12/1	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA809A	東京国際空港	函館空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	台北(桃園)	成田国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/2	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC	—	—	装備品整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
12/2	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA794A	ニューヨーク	東京国際空港	無申告危険物を輸送した。	
12/3	日本航空	ボーイング式737-800型	JA346J	奄美空港	大阪国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/4	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA464A	新千歳空港	函館空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/4	日本航空	ボーイング式787-8型	JA823J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
12/4	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	富古空港	那覇空港	装備品整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見され。	
12/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA842A	新千歳空港	函館空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NT	下地島空港	神戸空港	地上走行中、航空機衝突防止装置(TCAS)に不具合が発生した事を示す表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
12/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA315J	中部国際空港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
12/5	日本航空	ボーイング式787-8型	JA841J	バンコク	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
12/5	全日本空輸	ボーイング式777-200ER型	JA741A	大阪国際空港	東京国際空港	危険物を誤輸送した。	
12/5	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01AM	福岡空港	天草飛行場	離陸上昇中、空調系統に不具合が発生したため引き返した。	イレギュラー運航
12/6	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA62AN	新千歳空港	大阪国際空港	巡航中、対地接近警報装置(GPWS)に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A	新千歳空港	函館空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/7	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA846A	福江空港	福岡空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
12/7	日本航空	ボーイング式787-9型	JA869J	東京国際空港	シンガポール	管制指示経路を逸脱した。	
12/7	日本航空	ボーイング式767-300型	JA622J	東京国際空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/7	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA8970	成田国際空港	台北(桃園)	無申告危険物を輸送した。	
12/7	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA816A	東京国際空港	宮古空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/8	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA14FJ	高知空港	名古屋飛行場	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/9	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	—	—	定時整備中、第1エンジンナセルに腐食が発見された。	
12/10	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA872A	東京国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/11	フジビジネスジェット	セスナ式525A型	JA391C	東京国際空港	静岡空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に上がらなかった。	
12/11	日本航空	ボーイング式737-800型	JA304J	中部国際空港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
12/11	日本航空	ボーイング式767-300型	JA601J	大阪国際空港	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
12/12	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA818P	長崎空港	関西国際空港	離陸滑走中、飛行管理装置に不具合が発生したため、離陸を中止した。	
12/12	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA15FJ	神戸空港	高知空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
12/12	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA838A	東京国際空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/12	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA213A	東京国際空港	大館能代空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/13	日本航空	エアバス式A350-941型	JA13XJ	東京国際空港	新千歳空港	運用限界を超過した。	
12/13	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA227J	大阪国際空港	新潟空港	上昇中、第2エンジンの排気ガス温度が運用限界を超過した。	
12/13	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA822A	シンガポール	東京国際空港	危険物が漏洩した。	
12/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	東京国際空港	那覇空港	客室乗務員が乗務割を満足しない状態で乗務した。	
12/14	日本航空	ボーイング式787-8型	JA823J	ジャカルタ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
12/14	日本航空	ボーイング式787-8型	JA823J	ジャカルタ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
12/14	日本航空	ボーイング式737-800型	JA349J	東京国際空港	秋田空港	Turbulenceにより運用限界を超過した。	
12/14	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01AM	熊本空港	天草飛行場	脚上げ操作を実施したが、Lever Up操作ができなかった。	
12/15	日本航空	ボーイング式787-8型	JA835J	ジャカルタ	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
12/15	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN	旭川空港	東京国際空港	降下中、燃料計の表示に不具合が発生した。	
12/16	日本航空	ボーイング式787-8型	JA849J	福岡空港	東京国際空港	上昇中、高度制限を逸脱した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
12/16	日本航空	ボーイング式777-300型	JA735J	ロンドン	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
12/16	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN	釧路空港	東京国際空港	降下中、燃料計の表示に不具合が発生した。	
12/16	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA602F	成田国際空港	上海(浦東)	無申告危険物を輸送した。	
12/17	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	福岡空港	新潟空港	離陸滑走時、防氷系統の不具合を示す計器表示が確認されたため離陸を中止した。	
12/17	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA607J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
12/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	東京国際空港	那覇空港	上昇時、「TERR FAIL」の計器表示が発生した。	
12/18	日本航空	ボーイング式787-8型	JA823J	ソウル(金浦)	東京国際空港	鳥衝突により機体が損傷した。	
12/18	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	名古屋飛行場	高知空港	誤った重量重心位置で運航した。	
12/19	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA14VA	関西国際空港	福岡空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/19	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	中部国際空港	福岡空港	進入中、Windshearを検知する機能に不具合が発生したことを示す計器表示が発生した。	
12/19	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA891A	—	—	耐空性改善通報の期限を超過した。	
12/20	日本航空	ボーイング式767-300型	JA618J	成田国際空港	ジャカルタ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/20	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	地上担当者の確認間違いにより、搭載しない危険物の一部を誤って輸送したことが判明した。	
12/21	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA31CA	—	—	定時点検時に腐食が発見された。	
12/21	日本航空	ボーイング式737-800型	JA327J	関西国際空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/22	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA613A	—	—	運航整備中、非常用照明の不具合が発見された。	
12/22	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA872A	フランクフルト	東京国際空港	機体到着後、放射性輸送物の輸送容器の番号が互い違いの状態となっていることが判明した。	
12/22	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA922A	ホノルル	東京国際空港	貨物室に地上作業員の携帯電話を残したまま航行した。	
12/22	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA24JJ	中部国際空港	那覇空港	進入時、運用限界を超過した。	
12/24	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	—	—	定時整備時、プレーキ系統の油圧低下が確認された。	
12/24	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	彦岐空港	長崎空港	運航整備中、非常用照明の不具合が発見された。	
12/24	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA216J	新千歳空港	女満別空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
12/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	長崎空港	神戸空港	飛行前検査において、適切な整備処置を実施していなかった。	
12/25	スカイマーク	—	—	—	—	整備従事者が業務開始前のアルコール検査を実施せずに業務した。	
12/25	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	アムステルダム	ミラノ	カーゴドアのシール部の損傷に対して適切な整備処置をせず飛行した。	
12/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A	高松空港	東京国際空港	到着後点検にて、Wire Meshが脱落していることを発見した。	
12/25	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA13JJ	福岡空港	成田国際空港	衛生キット(感染症予防用具)未搭載で運航に供した。	
12/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	福岡空港	東京国際空港	定時整備中、客室内の酸素マスクの一部の不具合が発見された。	
12/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	アンカレッジ	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/26	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	福岡空港	松本空港	誤った重量重心位置で運航した。	
12/27	エアー・ジャパン	ボーイング式787-9型	JA895A	成田国際空港	シンガポール	飛行中、気象レーダーの不具合により、引き返した。	イレギュラー運航
12/27	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A	—	—	定時整備中、第1エンジンセルに腐食が発見された。	
12/27	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA831A	東京国際空港	宮崎空港	飛行中、副操縦士席側の操縦室窓にひび割れが発生した。	イレギュラー運航
12/28	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A321型	JA111A	福岡空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
12/29	日本航空	ボーイング式787-9型	JA876J	成田国際空港	ロサンゼルス	無申告危険物を輸送した。	
12/29	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ	花巻空港	神戸空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/30	日本航空	エアバス式A350-900型	JA08XJ	新千歳空港	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
12/30	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA605A	東京国際空港	新千歳空港	進入中、高揚力装置(スラット)に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/31	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA794A	ロサンゼルス	東京国際空港	危険物を誤輸送した。	
1/1	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA64AN	中部国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/2	日本航空	ボーイング式737-800型	JA306J	東京国際空港	南紀白浜空港	進入中、脚の降下の速度限界を超過した。	
1/2	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA02RK	那覇空港	東京国際空港	着陸の際、第2(右側)エンジンの逆推力装置が展開しなかった。	
1/5	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	メインデッキサイドパネルの擦り傷に対して適切な整備処置をせず飛行した。	
1/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA307J	東京国際空港	宮崎空港	着陸時の揺れにより、乗客1名が骨折した。	航空事故
1/7	日本航空	ボーイング式777-200型	JA701J	東京国際空港	那覇空港	危険物情報の確認返信をPICがしなかった。	
1/7	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA14JJ	成田国際空港	福岡空港	警戒降機中に乗客が怪我をした。	航空事故
1/8	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA821P	関西国際空港	釧路空港	管制指示高度を逸脱した。	
1/8	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA898A	クアラルンプール	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/8	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA879A	シンガポール	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
1/9	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	アムステルダム	ミラノ	離陸直後、脚の不具合を示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
1/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	中部国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/10	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA820A	メキシコ	成田国際空港	着陸時、Auto Operate Brake Leverが固着した。	
1/11	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	—	—	誤った部品(Push Button Switch)が取り付けいていたことが判明した。	
1/11	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	アンカレッジ	成田国際空港	出発前点検中、燃料系統の不具合を示す計器表示があった。	
1/11	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA27MC	—	—	不適切な整備処置を実施していた。	
1/11	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA251J	大阪国際空港	青森空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/11	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA219A	台北(松山)	東京国際空港	管制指示高度を逸脱した。	
1/12	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN	—	—	AMOGを逸脱した。	
1/12	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	アムステルダム	ミラノ	誤った重量重心位置で運航した。	
1/13	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA742J	東京国際空港	パリ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	上海(浦東)	荷主から無申告の危険物を輸送した。	
1/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA617A	東京国際空港	熊本空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
1/13	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA605F	シンガポール	成田国際空港	機内に地上作業員が使用する電子機器を置き忘れた状態で地上走行した。	
1/14	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	長崎空港	福江空港	上昇時、機内与圧の不具合を示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
1/14	日本航空	ボーイング式787-8型	JA834J	台北(桃園)	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
1/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	出雲空港	名古屋飛行場	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
1/15	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA606J	バンクーバー	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
1/16	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA26MC	北九州空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/17	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA614J	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/18	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	女満別空港	新千歳空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
1/18	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-403型	JA854A	中部国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
1/18	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	—	—	定時整備中、水平安定版の一部に腐食が確認された。	
1/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA653J	東京国際空港	函館空港	降下中、管制の指示高度を逸脱した。	
1/19	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA605A	—	—	誤った部品(ボルト)を取り付けた。	
1/20	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	ミラノ	アンカレッジ	巡航中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/20	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	中部国際空港	福岡空港	上昇中、高度制限を逸脱した。	
1/21	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA12RK	福岡空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/21	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	北九州空港	東京国際空港	進入中、Windshearを検知する機能に不具合が発生したことを示す計器表示が発生した。	
1/23	日本航空	ボーイング式737-800型	JA320J	小松飛行場	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/23	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA616J	台北(松山)	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/23	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A321型	JA27LR	福岡空港	成田国際空港	地上走行中、対地接近警報装置の不具合を示す計器表示があった。	
1/24	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA80AN	仙台空港	新千歳空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
1/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	那覇空港	中部国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/24	日本航空	ボーイング式787-8型	JA835J	香港	東京国際空港	降下中、運用限界速度を超過した。	
1/24	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A321型	JA146A	高知空港	東京国際空港	危険物を誤輸送した。	
1/25	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A	—	—	定時整備中、第1エンジンセルに腐食が発見された。	
1/25	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	中部国際空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA603A	香港	成田国際空港	スポット進入時に車両と接触し機材損傷が発生した。	航空事故
1/26	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA14AN	帯広空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A	熊本空港	東京国際空港	運用許容基準の適用時に不適切な整備処置を実施した。	
1/27	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA85AN	函館空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/28	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	新千歳空港	函館空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/28	日本航空	ボーイング式787-9型	JA862J	ロンドン	東京国際空港	到着後、作業用電子機器が貨物室で発見された。	
1/28	日本航空	ボーイング式737-800型	JA341J	東京国際空港	三沢飛行場	鳥衝突により部品脱落(CAT I)した。	イレギュラー運航
1/29	日本航空	ボーイング式787-8型	JA830J	ホーチミン	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
1/29	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ	新千歳空港	成田国際空港	着陸時、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に下がらなかった。	
1/30	中日本航空	ユーロコプター式EC135P2+型	JA122D	—	—	装備品の限界使用期限を超過して運航した。	
1/30	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA899A	—	—	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
2/1	日本航空	ボーイング式787-8型	JA845J	クアラルンプール	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
2/1	日本航空	ボーイング式787-9型	JA876J	上海(浦東)	成田国際空港	上昇中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
2/1	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA09AN	東京国際空港	新千歳空港	着陸復興時、フラップ展開時の運用限界速度を超過した。	
2/1	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN	仙台空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/2	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850A	小松飛行場	福岡空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
2/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	神戸空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/2	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA134A	東京国際空港	美保飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970	—	—	定時整備中、誤部品(Bolt)が発見された。	
2/3	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847A	中部国際空港	松山空港	脚上げ操作を実施したが、脚が正常に上がらなかった。	イレギュラー運航
2/4	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC8-400型	JA844A	大阪国際空港	新潟空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
2/4	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA825J	成田国際空港	ロサンゼルス	化粧室での Smoke Detectorが作動した。	
2/5	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA871A	ロサンゼルス	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
2/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA316J	南紀白浜空港	東京国際空港	電源の入った電子機器(携帯電話)を操縦室に置き忘れ輸送していたことが判明した。	
2/6	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA145A	—	—	定時整備途中、Megaphone の故障が確認された。	
2/7	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA06GR	南京	成田国際空港	運航乗務員の計器モニターや共通認識は取れている中、Auto Pilotの特性により、航空機の運用限界高度を一時的に超過した。	
2/7	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA713A	東京国際空港	那覇空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/7	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA812X	熊本空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/8	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	宮崎空港	福岡空港	降下中、FLAPが不作動となった。	
2/8	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	静岡空港	出雲空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/8	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA137A	福岡空港	那覇空港	ボルト1本を未装着で運航した。	
2/9	日本航空	ボーイング式787-8型	JA835J	ホーチミン	東京国際空港	機長側の窓に多数の亀裂が発生した。	
2/10	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	香港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
2/11	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA830A	東京国際空港	那覇空港	着陸時、Speed Brake Leverが動かし難かった。	
2/11	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA133A	佐賀空港	東京国際空港	貨物室に電子機器端末を置き忘れたため、GTBした。	
2/11	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC	—	—	夜間駐機中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
2/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	大阪国際空港	鹿児島空港	進入中、フラップ展開時の運用限界速度を超過した。	
2/12	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA811X	東京国際空港	熊本空港	運航点検時、Emergency Flush Lightの不作動が確認された。	
2/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA306J	新千歳空港	関西国際空港	降下中、風速の急変により速度超過になった。	
2/15	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA602F	—	—	定時整備中、Floor Beamに亀裂を発見した。	
2/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847A	秋田空港	大阪国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
2/16	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA935A	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/16	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	那覇空港	福岡空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA09RK	宮古空港	那覇空港	運航整備時、スラットの非対称な作動が確認された。	
2/17	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA227J	大阪国際空港	宮崎空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
2/17	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA243J	大阪国際空港	仙台空港	危険物を誤輸送した。	
2/19	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA56AN	—	—	定時整備中、水平尾翼の構造部に腐食を発見した。	
2/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA616A	熊本空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/21	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA09RK	那覇空港	宮古空港	地上走行時、航空機衝突防止装置(TCAS)に不具合が発生した。	
2/22	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA217A	東京国際空港	庄内空港	降下中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
2/23	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA207P	那覇空港	関西国際空港	無申告危険物を輸送した。	
2/23	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	大阪国際空港	大分空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/23	日本航空	ボーイング式737-800型	JA315J	高松空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/23	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	屋久島空港	大阪国際空港	離陸滑走を開始直後No.1 Engine TQ Indication が 0%を指示した。	イレギュラー運航
2/23	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	ダラス	シカゴ	危険物を積載したULDの誤搭載により機長へ誤った情報を提供し危険物を輸送した。	
2/23	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA717A	大阪国際空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
2/24	日本航空	ボーイング式767-300ER型	JA617J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
2/24	全日本空輸	—	—	—	—	身体検査基準に適合しないまま航空業務を行った。	



日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
2/25	日本航空	ボーイング式787-8型	JA829J	大連	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
2/25	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA804X	宮崎空港	東京国際空港	「救急の用に供する医薬品及び医療用具」が未搭載で運航した。	
2/26	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	—	—	定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
2/26	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC	東京国際空港	北九州空港	無申告危険物を輸送した。	
2/27	日本航空	ボーイング式787-9型	JA874J	ホノルル	成田国際空港	ULD内へ業務用電子機器を残留した。	
3/1	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA463A	—	—	定時整備中、左主翼の高揚力装置(フラップ)に腐食が発見された。	
3/1	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970	台北(桃園)	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/1	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA136A	徳島飛行場	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/1	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA05JJ	—	—	製造時、発動機のBolt取り付けに誤りがあった。	
3/2	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA602F	シンガポール	成田国際空港	巡航中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
3/2	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA57AN	大阪国際空港	熊本空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/3	日本航空	ボーイング式787-9型	JA878J	バンコク	成田国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
3/3	日本航空	ボーイング式787-8型	JA829J	香港	成田国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
3/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA615A	那覇空港	東京国際空港	Thrust ReverserのWire Meshが脱落した。	
3/4	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA205P	鹿児島空港	関西国際空港	無申告危険物を輸送した。	
3/5	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	徳島飛行場	東京国際空港	降下中、フラップ展開時の運用限界速度を超過した。	
3/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	新千歳空港	稚内空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/7	日本航空	ボーイング式787-9型	JA875J	ロサンゼルス	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/7	全日本空輸	エアバス式A321-211型	JA113A	大阪国際空港	仙台空港	鳥衝突により右発動機が損傷した。	
3/8	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA62AN	新石垣空港	関西国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	鹿児島空港	中部国際空港	誤部品が搭載されていた。	
3/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	那覇空港	福岡空港	誤部品が搭載されていた。	
3/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	神戸空港	鹿児島空港	無申告危険物を輸送した。	
3/8	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	北九州空港	東京国際空港	発電機の不具合により引き返した。	イレギュラー運航
3/8	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA82RC	—	—	整備要目の実施期限を超過した。	
3/8	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC	久米島空港	那覇空港	整備要目の実施期限を超過した。	
3/9	Peach Aviation	エアバス式A321-251NX型	JA902P	新千歳空港	関西国際空港	MR期限を超過した。	
3/9	Peach Aviation	エアバス式A321-251NX型	JA901P	新千歳空港	福岡空港	MR期限を超過した。	
3/9	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA732J	成田国際空港	ジョン・F・ケネディ	S/L通知書に誤ったULD番号を記載し運航した。	
3/9	朝日航洋	セスナ式680型	JA680C	名古屋飛行場	女満別空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
3/10	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	徳島飛行場	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/10	日本航空	ボーイング式787-8型	JA841J	ロサンゼルス	関西国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/10	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA882A	成田国際空港	ハノイ	携帯電話をULD上に残留されたまま輸送した。	
3/11	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA05RK	新石垣空港	那覇空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/11	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA212J	大阪国際空港	東京国際空港	計画における重量・重心位置と異なる状態で運航した。	
3/13	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA607A	東京国際空港	新千歳空港	進入経路からの逸脱をした。	
3/14	エアージャパン	ボーイング式787-8型	JA813A	バンコク	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
3/14	ジェイエア	エンブラエル式 ERJ170-100STD型	JA224J	大阪国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/15	ANAウイングス	ボーイング式737-800 型	JA79AN	中部国際空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/16	日本航空	ボーイング式737-800 型	JA335J	東京国際空港	秋田空港	降下中、フラップ展開時の運用限界速度を超過した。	
3/16	日本貨物航空	ボーイング式747-8F 型	JA13KZ	ダラス	シカゴ	離陸直後、DOORがオープンしたことを示す計器表示があった。	
3/16	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA888A	シドニー	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/16	ソラシドエア	ボーイング式737-800 型	JA813X	東京国際空港	熊本空港	運用許容基準を誤適用した。	
3/17	全日本空輸	エアバス式A321- 272N型	JA136A	東京国際空港	佐賀空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
3/17	全日本空輸	エアバス式A321- 272N型	JA148A	山口宇部空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/18	ANAウイングス	ボーイング式737-800 型	JA86AN	那覇空港	関西国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
3/18	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800 型	JA02GR	広島空港	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/19	ANAウイングス	ボンバルディア式 DHC-8-402型	JA845A	福島空港	新千歳空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/19	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA921A	ホーチミン	東京国際空港	運用許容基準を適用せず運航した。	
3/22	Peach Aviation	エアバス式A320- 251N型	JA206P	成田国際空港	関西国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置の不具合を示す計器表示がでた。	
3/22	日本航空	ボーイング式777- 300ER型	JA742J	—	—	定時整備中、酸素マスクの自動落下試験において正常に落下しなかった。	
3/22	日本航空	ボーイング式787-9型	JA877J	サンフランシスコ	成田国際空港	右発動機の一部部品が脱落(CAT I)していた。	
3/22	ジェイエア	エンブラエル式 ERJ170-100STD型	JA222J	花巻空港	大阪国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/23	ANAウイングス	ボーイング式737-800 型	JA76AN	鳥取空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214 型	JA09VA	成田国際空港	那覇空港	客室乗務員が使用期限切れのアルコール検知機を使用して法定検査を実施した。	
3/24	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737- 800型	JA04RK	—	—	定時整備中、非常用照明の不具合が発見された。	
3/24	ソラシドエア	ボーイング式737-800 型	JA806X	東京国際空港	長崎空港	Passenger Step車に左翼端(Winglet)が接触し損傷した。	イレギュラー運航
3/25	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800 型	JA02GR	新千歳空港	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/25	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA877A	東京国際空港	サンフランシスコ	誤ったETOPSの飛行実施計画書を作成し、運航した。	
3/26	日本航空	エアバス式A350-941 型	JA08XJ	福岡空港	東京国際空港	飛行中、Windshieldの表面にひび割れが発生した。	
3/26	日本航空	ボーイング式737-800 型	JA329J	東京国際空港	松山空港	機長側のCockpit Window内の電熱線の不具合が発生した。	イレギュラー運航
3/27	日本航空	ボーイング式787-8型	JA844J	メルボルン	成田国際空港	地上作業員が作業用電子機器を貨物室に置き忘れた。	
3/28	ANAウイングス	ボンバルディア式 DHC-8-402型	JA848A	中部国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/29	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC -8-402型	JA463A	—	—	定時整備中、第2エンジンナセルに腐食が発見された。	
3/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800 型	JA02RK	那覇空港	関西国際空港	巡航中に後方ラバトリーのSmoke Detectorが作動した。	
3/29	AIRDO	ボーイング式767- 300型	JA613A	—	—	他社航空運送事業者再使用部品を取り付けた。	
3/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800 型	JA02RK	那覇空港	中部国際空港	乗客が後方エントリードアのハンドルに接触してしまい警告灯が点灯した。	
3/31	日本航空	ボーイング式767- 300ER型	JA618J	成田国際空港	マニラ	部品接続のためのNUTが正常に取り付けられていなかったため、第1(左側)エンジンの抽気系統の不具合が発生した。	イレギュラー運航